

# 平成27年度小平市障害者就労・生活支援センター ほっと 事業実績報告書

## 1 はじめに

平成25年4月に障害者の法定雇用率が2.0%に引き上げられて、3年が経過した。障害者雇用は売り手市場化が現在も続いている。平成28年4月からは障害者差別解消法が制定され、合理的配慮の取り組みが義務化される。障害者を雇用する企業にも、こうした取り組みに関して関心が高まってきている。

障害者の企業就労は平成30年4月に実施予定の精神障害者・法定雇用率カウント義務化もあって、引き続きクローズアップされると思われる。しかし、当支援センターには企業就労を願って、年に100名以上の相談者が新規来所するが、企業の求める雇用者像との乖離も多く、求人と求職のマッチングに苦労している。また、支援機関側においては、求職者の就労アセスメントや準備支援が不十分なまま、企業の要望に応えるために就労に結びつけるケースも多い。就労者1人ひとりが安定した企業就労を果たすには、ていねいな準備と入職初期段階でのマッチング、そして長期的な職場定着という一貫した支援が重要と考えている。

相談の状況としては、ここ数年精神疾患のある方の割合が全体の90%近くを占めており、発達障害や高次脳機能障害の方も増え、相談者の状況の多様化が顕著となっている。医療機関を受診している方がほとんどであるため、支援の一貫性を目的に可能な限り通院同行し、ケースワーカーなどの担当者との情報共有・意見交換にも力を入れた。

就労状況としては、特別支援学校新卒の就職者17名を含め新たに47名の方が一般就労を果たしたが、年度途中の離職者は8名であった。就労継続中の方に対しても定期的な職場定着訪問を実施したほか、就職者本人、家族、企業からの要望・必要に応じた支援を行った。

平成27年度は支援センター職員の1名増員が認められたこともあり、年々増加する定着支援や、就労支援に関する多様なニーズへの拡充が見込まれた。その中で、職員1人ひとりが創意工夫して時間を有効かつ効率的に使い、就労支援センターがチームとして業務に取り組んだことは、一定の成果があったといえる。

## 2 事業主体

- 1) 施設名 小平市障害者就労・生活支援センター ほっと
- 2) 事業種別 障害者就労支援事業
- 3) 所在地 小平市大沼町2-1-3 未来ワークセンター内
- 4) 運営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用登録者数 455名（平成28年 3月31日現在）
- 6) 今年度就労者数 47名（平成28年 3月31日現在）
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業契約締結日 平成27年 4月 1日～平成28年3月31日
- 9) 職員 9名（平成28年3月31日現在）
  - ・常勤 : 7名（産休中1名含む）
  - 施設長 1名
  - 就労支援コーディネーター 3名（施設長兼務）

- 生活支援コーディネーター 2名 \*市内障害者施設販売促進事業担当職員を兼務  
地域開拓促進コーディネーター 1名  
企業内訓練指導員 1名  
・非常勤：2名（常勤換算1.0名）  
就労支援コーディネーター 1名  
生活支援コーディネーター 1名

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現の支援。  
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。  
安心と希望の持てる生活。

#### 4 事業内容

- 1) 事業の対象： 就労に関する相談および支援を希望する障害のある方、障害者雇用に関する相談および支援を希望する事業者
- 2) 事業の目的： 障害者の一般就労を促進するために就労支援を実施し、障害者の職業的自立・社会的自立と社会参加を支援する

#### 5 平成27年度基本方針の取り組み

##### ①総合的支援体制の構築（暮らし全般の支援に向けたネットワーク強化）

- ・小平市就労支援連絡会を年3回（6月、10月、2月）実施した。10月は多摩地域で先進的な取り組みを行っている就労移行支援事業所の所長を招き、就労支援の取り組みについて意見交換を行った。また、2月は就労中の精神疾患のある当事者の話を聞く機会を設けた。いずれも、市内の就労支援体制の連携強化に役立った。
- ・精神保健福祉業務連絡会などの会議に参加し、情報交換・学習会などのほか、市内福祉事業所の受入れ人数確認等を行った。
- ・増加する精神疾患のある相談者への対応スキルの向上と地域の医療機関との連携を目的に、市内および近隣の医療機関との意見交換会を実施した。（9月、10月、1月、2月）市内だけでなく、近隣の医療機関との顔の見える関係作りが進んだ。
- ・市内支援センター会議（あさやけ、ひびき、ほっと）を年5回（偶数月）開催した。ケースの共有化と職員の相談能力向上を目的に、各センターでの課題などについて話す会議を実施した。

##### ②企業、事業所への障害者雇用と実習受入れの開拓及び理解促進

- ・ハローワークから紹介のあった企業や、職場定着支援でつながりのある企業を中心に、就労希望者を紹介し、今年度47名の新規就労に結び付けた。
- ・小平商工会の主催イベント「産業まつり」や、地域商店会の会合などの参加し、地域に対して就労支援センターへの認知・理解促進を行った。

##### ③職員個々の相談能力向上

- ・原則週1回のケース検討会議を開催し、情報共有の必要な相談者を中心に支援方法の共有や意見交換を行い、課題の解決に役立てた。
- ・相談割合の多い精神疾患のある方への支援能力向上のため、精神保健福祉研修への参

加（6月、7月、12月）、東京障害者職業センター主催の研修会（1月）等へ参加した。研修会の内容はケース検討会議等で情報共有を行った。

④特別支援学校との在学中から卒業後までの連携体制の充実

- ・在学中の相談・課題の共有、職場実習同行を行ったほか、卒業前の移行支援会議に参加し、就労先企業との引継ぎを行った。
- ・卒業生の就労初期段階での職場定着・継続支援を中心に、学校と連携して実施した。

⑤増加する定着・継続支援の対応

- ・定期的な訪問、電話、メールによる状況確認を行ったほか、必要に応じて関係機関との連携により支援の役割を明確化した。
- ・課題のある就労者に対し、定着支援段階に外部ジョブコーチの活用（東京ジョブコーチ）を行った。

⑥市内就労支援事業所との連携による就労へのステップアップの仕組の充実

- ・就労支援事業所連絡会を年5回開催した。事業所の就労支援への取り組みについて意見交換を行ったほか、バウムからのステップアップ状況の確認を行った。また、東京障害者職業センター 多摩支所、特別支援学校進路担当などの関係機関を招いて、就労支援の現状に関する情報収集も行った。
- ・今年度はバウムから3名の利用者が就労移行支援事業へのステップアップを果たしたほか、就労継続支援B型事業所からの就労ステップアップの相談に対応した。
- ・ハローワーク立川と連携して、求人情報と求職者情報の適切なマッチングを目的に定期的な会議の開催をスタートした。

## 6 開所状況

1) 開所期間 自平成27年 4月 1日 至平成28年 3月31日

2) 開所日数

(1) 週開所日数 5日間及び6日間（第2、第4土曜日）

(2) 開所時間 午前10時～午後7時

(3) 年間開所日数 264日

## 7 支援状況（平成28年3月31日現在）

1) 利用者（登録者）等の状況

(1) 身体障害者： 27名 (2) 知的障害者： 212名 (3) 精神障害者： 196名

(4) その他の障害者： 20名 計： 455名

2) 就労支援・生活支援実績

①方法別件数

- ・来所（本人、家族、企業、関係機関が就労支援事業所に来所） 1, 721件
- ・電話、メール、FAX（本人、家族、企業、関係機関が就労支援事業所に連絡等） 4, 284件
- ・訪問（企業、関係機関、家庭への訪問） 2, 443件
- ・その他（本人、家族、企業、関係機関が企業訪問・面接等への同行） 987件

|  |         |
|--|---------|
| ・ のべ件数                                 | 9, 435件 |
| ②内容別件数                                 |         |
| [就労支援]                                 |         |
| ・ 職業相談（就労全般）                           | 4, 178件 |
| ・ 就職準備支援（適性、能力の把握、就労意欲や職業能力の向上等）       | 2, 619件 |
| ・ 職場開拓件数（障害者雇用のレクチャー、制度へのコーディネート等企業支援） | 3件      |
| ・ 職場実習（通勤支援、実習支援）                      | 7件      |
| ・ 職場定着支援（契約内容相談、定期的訪問等）                | 2, 271件 |
| ・ 離職支援（諸手続き、調整等）                       | 29件     |
| ・ のべ件数                                 | 9, 107件 |
| [生活支援]                                 |         |
| ・ 日常生活支援（出勤準備、通勤生活リズムの調整等）             | 17件     |
| ・ 不安や悩みの解消（対人関係相談）                     | 113件    |
| ・ 豊かな社会生活を築くための支援（余暇支援、福祉サービスの利用援助等）   | 151件    |
| ・ 将来設計相談（自己選択、自己決定に関する相談）              | 47件     |
| ・ のべ件数                                 | 328件    |

### 3) 訓練等実績

- ・ 委託訓練： 1名
- ・ 職場実習： 7名
- ・ 小平市役所実習：年17回（111日）、訓練参加実人数：31名
- ・ 小平市役所販売：年4回（20日）、訓練参加実人数：22名、年間売上：1, 426, 240円
- ・ 企業内訓練： 年230日、訓練参加実人数： 42名

### 4) 就職者実績

- ・ 新規就職者： 47名
- ・ 継続支援者： 191名
- ・ 平成28年3月特別支援学校卒業生の支援人数：18名  
（田無9名、青峰4名、永福3名、南大沢1名、小平1名）
- ・ 平成27年3月特別支援学校卒業生の支援人数：17名  
（田無9名、青峰2名、永福3名、南大沢1名、学芸大附1名、都内1名）
- ・ 特別支援学校移行支援会議：2回（田無、青峰学園）